

日本海新聞 平成 25 年 8 月 17 日土曜日

新米子市立図書館・美術館きょうオープン

# 図書寄贈、館内を見学

米子東RC

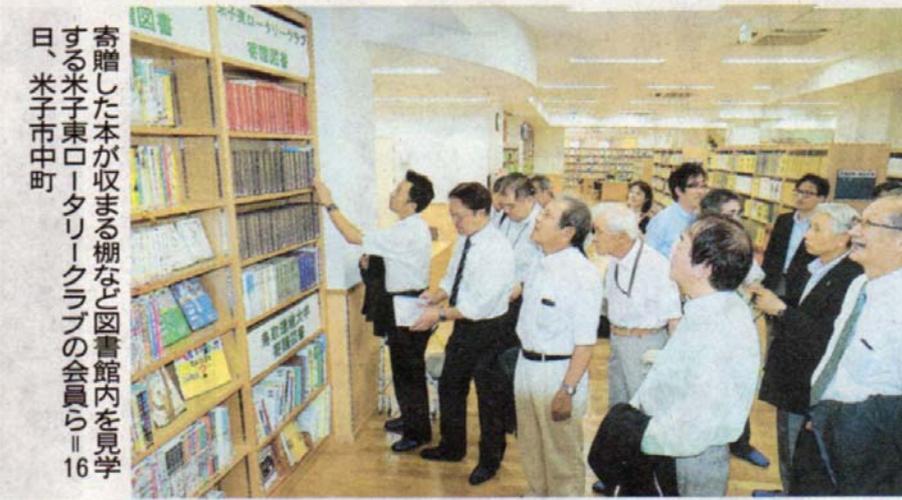
米子市中町の市立図書館・美術館が17日、リニューアルオープンする。オープンを前に16日、米子東ロータリークラブ（木美俊彦会長、90人）が図書館に書籍などを寄贈して館内を見学。「市の新しい知の拠点」としての役割に期待を込めた。

同クラブの地域貢献活動の一環。地元ゆかりの詩人・生田春月や評論家・生田長江が登場する作品を書いた瀬戸内寂聴全集、インド哲学・仏教学の世界的権威で松江市名誉市民の中村元選集、前田恆存全集、森鷗外選集など、図書館が選書した87冊と壁掛け時計、はと時計を1台ずつ寄贈した。寄贈した書籍は、1年間程度館内に専用コーナーを設けて並べられる。

市役所第2庁舎で行われた贈呈式では、木美会長が市教委の北尾慶治教育長に目録を手渡した。北尾教育長は「高価で貴重な本を寄贈していただいた大変ありがたい」と謝意を述べた。

館内見学には会員27人が参加。木美会長は「明るく広々とした図書館になった。寄贈した本を多くの市民の皆さまに読んでもらいたい」と話していた。

新しい図書館は床面積を従来の1・5倍に増床。蔵書は1万4千冊増の25万冊となり、特に児童書の開架スペースを2倍以上の250平方メートルに拡充した。美術館も移動式の展示パネルを新設。カフェを併設するなど利便性の向上を図っている。



寄贈した本が収まる棚など図書館内を見学する米子東ロータリークラブの会員ら16日、米子市中町

朝日新聞 平成 25 年 8 月 17 日土曜日



ロータリークラブ（木美俊彦会長、90人）が16日、総額50万円相当の図書や壁掛け時計5台などを寄贈した。図書は瀬戸内寂聴全集など図書館側から希望のあった作家5人の哲学、文学全集など87冊で、木美会長11写真左から市教委の北尾慶治教育長に目録が渡された。

17日は午前9時45分から図書館・美術館前エントランス広場でテープカットがあり、同10時にオープンする。開館時間は火～金曜日午前9時～午後7時、土、日曜、祝日は午前10時～午後6時。休館日は月曜、月末、年末年始など。

（佐々木宏）